

生物研究

第 XIV 卷 第 1 号

1970

THE LIFE STUDY

Vol. XIV, No. 1

February 20, 1970

FUKUI, JAPAN

- 1 ♂, 18. VII. 1969 (H. Y.).
5. *Lestica (Lestica) collaris* (Matsumura, 1912) クビワギングチ
2 ♂♂, 17. VII. 1969 (H. Y.); 1 ♂, 18. VII. 1969 (H. Y.); 1 ♂, 19. VII. 1969 (H. Y.).
6. *Crossocerus (Cuphopterus) dimidiatus sapporoensis* (Kohl, 1915) サッポロギングチ
1 ♀, 18. VII. 1969 (S. O.).**
7. *Crossocerus (Ainocrabro) aino* (Tsuneki, 1947) アイヌギングチ
1 ♀, 21. VII. 1969 (H. Y.).
8. *Crossocerus (Coelocrabro) cetratus* (Shuckard, 1837) ヒラアシギングチ
2 ♀♀, 21. VII. 1969 (H. Y.).
9. *Crossocerus (Coelocrabro) walkeri* (Shuckard, 1837) カゲロウギングチ
1 ♀, 19. VII. 1969 (H. Y.).
10. *Crossocerus (Coelocrabro) amurensis* (Kohl, 1892) アムールギングチ
1 ♀, 22. VII. 1969 (H. Y.).
11. *Rhopalum (Latrorhopalum) latronum* (Kohl, 1915) クログングチ
3 ♀♀, 21. VII. 1969 (H. Y.); 1 ♀, 20. VII. 1969 (H. Y.); 1 ♀, 18. VII. 1969 (H. Y.).
- ドロバチモドキ亜科 (Nyssoninae)
12. *Gorytes (Gorytes) aino* Tsuneki アイヌアワフキバチ
1 ♀, 20. VII. 1969 (H. Y.).

以上の中, 9, 10, 12は常木先生の私信によれば, いずれも大きな個体変異が認められた。標本は上記3種を除き, 全て名城大学農学部昆虫学研究室に所蔵する。

*(H. Y.)=H. Yamada, **(S. O.)=S. Ohkusa.

ミナミツチスガリ本土からの初記録

常 木 勝 次

1970g: K. Tsuneki: Discovery of *Cerceris variaesimilis* Maidl in Kyushu, Japan (Hym., Sphecidae).

This species has hitherto been known from Java, Malaya, Thailand, S. E. China, the Philippines, Formosa and the Ryukyus (Okinawa) and is new to the fauna of the Japanese Main Islands: 1 ♂, Mt. Takakuma, Kagoshima Pref., 14. VIII. 1968. K. Kammiya lgt.

この種は学名を *Cerceris variaesimilis* Maidl, 1926 といい, 最初ジャワから記載され, その後南方各地(沖縄を含む)からいろいろな学名で記録されたツチスガリである。今回鹿児島県から初めて発見され, いわゆる本土からの初記録となったので, 以下にその特徴を記して御参考に供したい。

まず発見の経緯から述べると, たしか1968年の秋であったと思うが, 九大の白水隆教授から一包みの蜂標本が送付され, それは彦山研究所の上宮健吉氏が鹿児島で採集したものであるが, 自由に使ってくれということであった。一見したところめばしいものもないようなので——*Psen atratinus longulus* が非常に多いのが印象的だった——そのままにしておいたが, 昨秋整理のためこれらを mount してみたところ, はからずも本種の♂標本が1頭みつかったわけである。Data は, 鹿児島高隈山, 14. VIII. 1968. K. Kammiya.

本種は *C. carinalis*, *C. nipponensis* の group に入るハチで, ♂では第1腹節がその幅より長く, ♀では頭楯上面に, 短くて幅広い, 前縁が三角にえぐれた突起物がある。大きさは♂7mm, ♀8mm前後で, 邦産の他種より小さい。また♂は顔面の下半が黄色であるが, 頭楯は中央基部から伸びる三角紋のほかは黒色で, その黒色部の両側片が金色(または銀色)の斜毛で覆われている点は非常に特徴的である。また♀♂とも第1腹節が, 少なくとも下面は赤褐色である点で, 邦産の他種と容易に区別できる。触角は第1節のみ黄, その他は黄赤色, 上面だけ淡褐である。その他の黄色部は, 大顎の大部, 前胸背の2大紋, 翅底鱗, 後楯板, 第2腹背節基部の紋, 第3・5・6背節の広い黄帯, 第3腹面節の両側紋, 前中脚の大部, 後脛節の大部,

第1後付節の過半等である。翅先部はそこだけ目立って黒くなっている。早は日本本土から未発見であるが、台湾などの標本によると、大体♂に似ているが、頭部前面の黄斑は4個に分断されており、触角ペーン節は全体赤褐、腹部は第2節基部まで赤いことが多い。また第5節の黄帯はほとんど全節を覆い、第6節は黒くその両側および下面は赤である。尾域は長梯形、心形域は不規則斜皺条でその間に不整点刻のあることが多い。

ちなみに、*Cerceris spinicollis* Giner Mari および *Cerceris fukaii basiferruginea* Tsuneki は共に本種のシノニムである。

稿を終るにあたり、この種を2次採集された白水隆教授のけい眼に敬意を表したい。

私の標本箱から

少し古い採集品であるが、東京都内で採集したギングチバチ族のうち記録のないものについて報告する。

1. *Ectemnius schlettereri* (Kohl) イワタギングチ 2♀, 三鷹市, 5. IX. 1955, 1巢(4♀7♂), 同市, 18. IX. 1955. 上記の巢は庭のブドウ棚の丸太に営巢したもので, Prey 49頭中10頭は当時まだ少なかったアメリカミズアブであった。
2. *Crossocerus pubescens* (Shuckard) ケブカギングチ 1♂, 三鷹市, ? . IX. 1955.
3. *C. denticrus* Herrich-Schaeffer トゲアシギングチ 2♀, 八王子市, 13. IX. 1957.
4. *Rhopalum nipponicum* (Kohl) ニッポンギングチ 2巢(3♀5♂), 三鷹市, 3, 26. IX. 1955; 4♀5♂, 八王子市, 13. IX. 1957.
5. *R. nigrinum* Kiesenwetter チャタテギングチ 3♂♂, 八王子市, 13. IX. 1957.

(南部敏明)

珍 巢 2 題

Tsuneki, K. Two curious nests. (1) Pure resin nest of *Megachile sculpturalis* Sm., a block of 1×4-5×8 cm, including 6 larval and 1 empty cell. (2) A nest of *Odynerus quadrifasciatus* F. made in a cell of *Polistes jadwigae* D. T.

オオハキリバチはふつう材の虫穴とか、竹筒の切口などの自然の空所を利用して、そこに葉片ならぬ樹脂を集め、やに造りの育房を連鎖する。かつて岩田さんがヤニハナバチと呼ぶべきだと述べているのも宜なるかな、と思われるハチである。育房と育房の仕切りにはどろも利用し、入口の戸じまりにも、どろを利用することが多い。

ところが、ここに述べるハチは、私の家の棚にのせた木箱と壁との間の狭い空間を選んで、そこに純粹に樹脂だけを使って7個の幼虫室を造りあげた。それは大体の長さ8cm、高さ4~5cm、厚さ1cmの不規則な形をしたブロックだったが、両面が白壁と削り板に接したために磨かれたように滑らかで、まさにコハク造りの美しいできあがりだった。私は巢が完全に乾燥してから採集して秤ってみたが、それは13g余りだったのである。ハチが莫大な回数の採集旅行をやったことが推察できる。7個の室の中の1つは空室だったが(ここに空室を作ったことは非常に興味深い)、それらは一平面に不規則に配置され、幼虫はそれぞれまゆを造っていた。後にこれらから2♀4♂が羽化した、羽化のとき、残念なことに、この美しい巢は粉碎(!)されてしまった。

ミカドロボバチは細めの竹筒や、よしずのヨシの穴によく造巢するハチだ。ところがここに述べるハチは、セグロアシナガバチの空巢に造巢した。私が発見したのは冬で、巢は地上に転がっていたのだが、ハチがいつ造巢したのかは、わからない。とにかくアシナガバチの1つの育房をどろで2室に分け、奥を幼虫室、入口を空室に仕付けていた。そこにいた前蛹の頭が奥を向いていたことを特記しておこう。(常木)